



第2回定時株主総会

ラックホールディングス株式会社

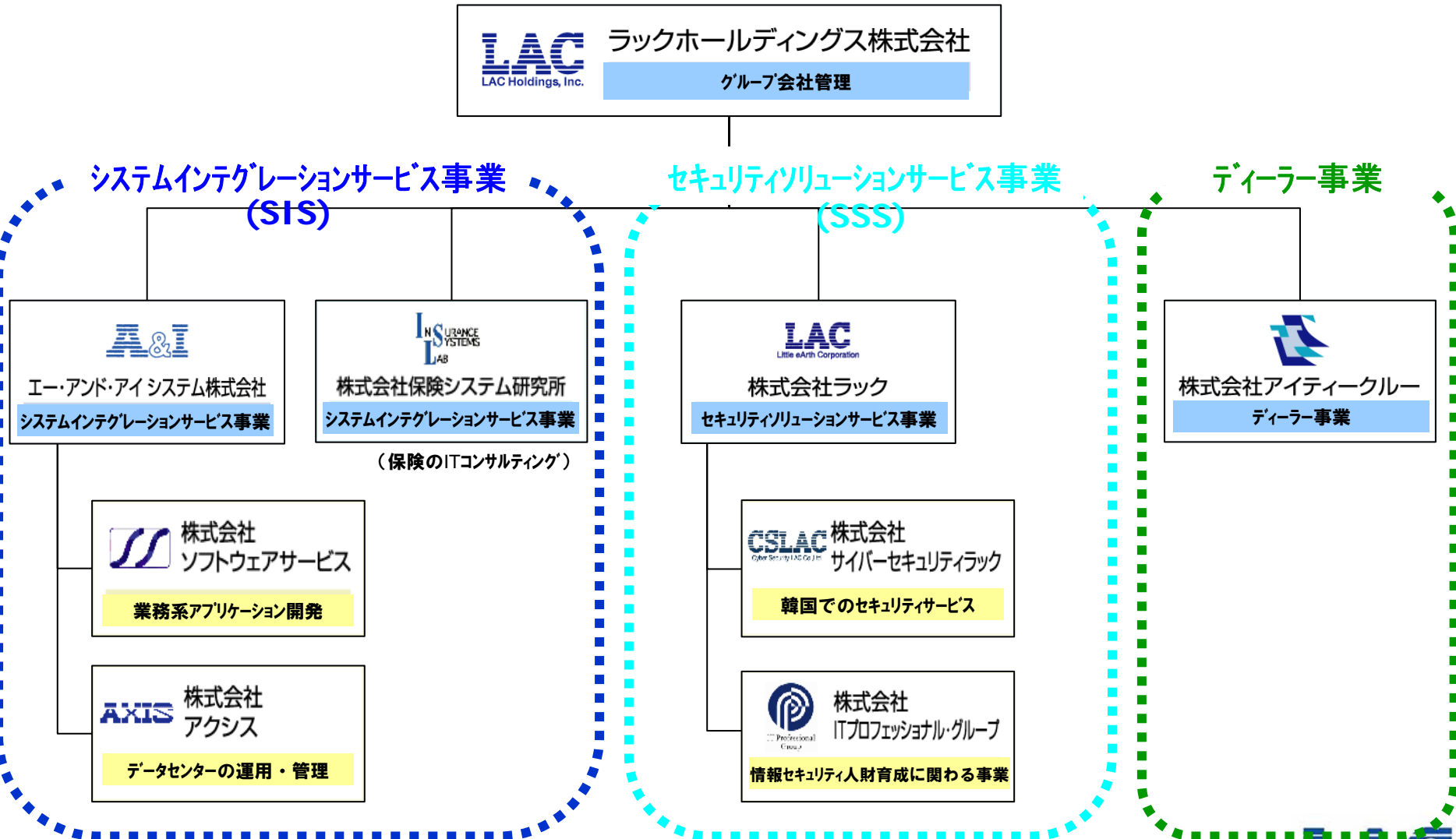
2009年6月23日

JASDAQ(証券コード: 3857)
<http://www.lachd.co.jp/>

LAC
LAC Holdings, Inc.

©2009 Copyright LAC Holdings, Inc.

1. 企業集団の現況; (1) 当事業年度の事業の状況



1. 企業集団の現況; (1) 当事業年度の事業の状況

システムインテグレーションサービス(SIS)事業の取り組み

□ LACのSIS事業をA&Iに集約

- 相互既存顧客の深耕
- グループ内リソースの有効活用
- 営業管理業務の効率化

□ 新規ソリューションサービスの創出

- 台湾ウイツ社への資本参加による長期的アライアンスの強化
- SAPシステム向け解析・可視化ツール「EZ Source™」の販売

1. 企業集団の現況; (1) 当事業年度の事業の状況

セキュリティソリューションサービス(SSS)事業の取り組み

□ LACをSSS事業に特化

- 構築サービスの強化
- セキュリティソリューションサービスをワンストップで提供する体制の整備

□ KDDI(株)との連携強化

- 商材の共同開発の推進
(セキュリティコンサルティング、セキュリティポリシーマネジメント、海外拠点向けセキュリティ監視)

□ 新サービスの提供

- 情報セキュリティ顧問サービス
- プラットフォーム診断エクспレス
- フィッシングサイト閉鎖サービス

□ 韓国現地法人「Cyber Security LAC (韓国ラック)」設立

1.企業集団の現況; (1)当事業年度の事業の状況

ディーラー事業の取り組み

□ 事業継承

- ニイウス コー(株)およびニイウス(株)よりディーラー事業を継承
- 平成20年8月1日より事業を開始

□ 既存顧客へのサービス維持、新規案件の受注獲得

- 金融系を中心とした情報システム関連HW/SWの販売
- その導入と運用を行うSEサービスの提供
- 稼働したシステムの保守サービスの提供

1. 企業集団の現況; (1) 当事業年度の事業の状況

業績[連結]

	平成21年度
売上高	325.38億円
営業利益	9.05億円
<i>営業利益率</i>	<i>2.8%</i>
経常利益	7.06億円
<i>経常利益率</i>	<i>2.2%</i>
当期純利益	2.40億円
<i>当期純利益率</i>	<i>0.7%</i>

1. 企業集団の現況; (1) 当事業年度の事業の状況

事業別業績; 売上高 ディーラー事業

ディーラー事業	135.22億円
HW/SW販売	72.75億円
SEサービス	18.84億円
保守	43.62億円

- ✓ ほぼ全てのお客様との取引継続を実現
- ✓ グループ一体化による管理コスト低減や要員稼働率の向上
- ✓ 初年度から黒字を達成

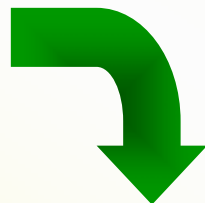
- HW/SW販売
- SEサービス
- 保守サービス

1. 企業集団の現況; (1) 当事業年度の事業の状況

事業別業績; 売上高 システムインテグレーションサービス事業

SIS事業計	140.32億円
開発サービス	128.31億円
ソリューションサービス	4.15億円
関連商品	7.85億円

- 開発サービス
- ソリューション
- 関連商品



[SI案件のコストオーバーランについて]

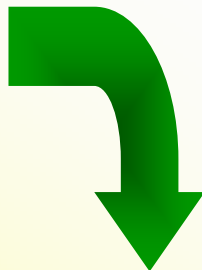
- ✓ 人材派遣業界向けシステムの請負開発案件で発生
- ✓ 上流工程時期に複数の大型案件が並行進行し、プロジェクト管理面が不十分となる
- ✓ 開発工程での「手戻り」が複数発生し、当初予定のコストを大幅に超過
- ✓ 当案件の直接赤字額は、約4億6千5百万円
- ✓ 機会損失による逸失利益は、約2億7千5百万円
- ✓ 再発防止に向けて
 - プロジェクトマネジメント力の強化(業務要件の明確化、リスク管理の徹底)
 - 品質管理体制の強化(実効性のある営業検定、プロジェクト検定の実行)

1. 企業集団の現況; (1) 当事業年度の事業の状況

事業別業績; 売上高 セキュリティソリューションサービス事業

SSS事業	49.83億円
コンサルティングサービス	14.06億円
構築サービス	1.29億円
運用監視サービス	22.22億円
関連商品	12.24億円

- コンサルティングサービス
- 構築サービス
- 運用監視サービス
- 関連商品



- ✓ ログ管理ソリューションの大型案件を期待市場とみていた
- ✓ 大型案件受注のための体制（先行投資）が当期の成果に繋がらず

1.企業集団の現況; (4)対処すべき課題 [1/2]

□経営基盤の強化

- 業務の効率化によるコスト削減など、効率的な経営を推進
- 多角的な資金調達により財務体質を強化

□お客様を基点としたサービスの提供

- グループ総合力を活かした営業展開で既存顧客深耕と新規顧客開拓を強化
- エンドユーザの視点に立ち、最適な戦略的IT投資案件を提案

□高品質なサービスの提供

- 業務要件の明確化とリスク管理の徹底など、プロジェクトマネジメント力を強化
- 営業検定・プロジェクト検定の遂行やプロジェクト管理システムの充実により、品質管理体制を強化

□グローバル展開の推進

- 台湾ウィツ社との業務連携の推進により、グローバルリソースを活用
- 中国における日系現地法人向けサービスを展開
- 韓国現地法人（韓国ラック）により、韓国内の情報セキュリティビジネスを推進

1.企業集団の現況; (4)対処すべき課題 [2/2]

□統制のとれたガバナンスのもとでのコンプライアンスの徹底

- コンプライアンス・内部統制委員会をグループ全体で統括運営
- 各事業会社と連携しコンプライアンス意識の統一とコーポレートガバナンス体制を強化
- 危機管理委員会をグループ全体で統括運営
- 各事業会社と連携し危機発生回避や危機発生時の対応を共有

□人材の多様性を尊重したうえでの人間力の養育

- 自己啓発意欲を尊重した教育を実施
- 次代に合った技術力、経営力および、人間力の強化を図る

以上の一つひとつの課題に全社一丸となって取り組んでまいります。
株主の皆様の方強いご支援をよろしくお願い申し上げます。

第1号議案; 剰余金の処分の件

① 配当財産の種類

- 金銭

② 配当財産の割当に関する事項およびその総額

- 当社普通株式1株につき金**3円**
- 配当総額は78,968,970円

③ 剰余金の配当が効力を生じる日

- 平成21年6月24日

[配当の基本方針]

- 継続的に安定的な配当水準の維持
- 目標とする指標はDOE（純資産配当率）5%

[実施済みの中間配当]

- 中間配当金1株当たり**6円**（平成20年12月11日実施済）

年間配当金9円

（DOE：4.2%）

第2号議案; 定款一部変更の件

1. 変更の理由

- (1) 株券の電子化に伴い、定款上不要となった株券、実質株主、実質株主名簿に関する規定の削除等、所要の変更、および株券喪失登録簿の備え置くため、附則に所要の規定を新設
- (2) 当社事業の現状に則し、事業内容の明確化を図るとともに、事業内容の多様化に対応するために、現行定款第2条につき事業目的を追加
- (3) 上記変更に伴う、条数の繰り上げ等を実施

2. 変更の内容

変更内容は、招集ご通知43ページから47ページに記載

第3号議案; 取締役5名選任の件

本総会終結の時をもって取締役6名全員が任期満了となるため、
取締役5名の選任をお願いします。

[取締役候補者]

- 三柴 元 (みしば げん)
- 岡 良貴 (おか よしたか)
- 牧野 敏夫 (まきの としお)
- 白石 通紀 (しらいし みちのり)
- 中内 重郎 (なかうち じゅうろう)

各候補者の略歴等は、招集ご通知48ページから52ページに記載

第4号議案; 監査役1名選任の件

監査役 高井 健^三氏は、本総会終結の時をもって辞任するため、新たに監査役1名の選任をお願いします。

本議案につきましては、監査役会の同意を得ています。

[監査役候補者]

- 網野 猛美（あみの たけみ）

候補者の略歴等は、招集ご通知53ページに記載

第5号議案; 募集株式の発行可能数の上限設定の件

[定款第6条] (募集株式の発行)

当会社が募集株式を発行する場合は、その募集株式の数の上限を定時株主総会が決議し、その他の募集事項の決定については、取締役会が決議するものとする。

[上限設定の目的]

- 今後の経営の安定成長に備えるため、財務基盤の強化
- 機動的な資本政策への対応

[募集株式の発行可能数]

- 上限で当社普通株式1,000万株

募集株式発行に係る募集事項の決定については
今後の取締役会において決定

本日は、株主の皆様には
ご熱心にご審議をいただきまして、
誠にありがとうございました。

第2回定時株主総会

ラックホールディングス株式会社

2009年6月23日

JASDAQ(証券コード: 3857)

<http://www.lachd.co.jp/>

LAC
LAC Holdings, Inc.

©2009 Copyright LAC Holdings, Inc.